



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社
 コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 本田 仁志

TEL 03-4363-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	135,050	9.7	6,279	31.1	7,215	37.4	5,898	86.9
25年3月期第3四半期	123,129	3.8	4,790	△22.8	5,252	△15.1	3,155	△7.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,078百万円 (161.2%) 25年3月期第3四半期 3,093百万円 (△4.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	143.36	—
25年3月期第3四半期	76.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	85,291	59,252	65.8	1,363.90
25年3月期	88,420	53,301	56.4	1,212.44

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 56,112百万円 25年3月期 49,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	48,794,046 株	25年3月期	48,794,046 株
26年3月期3Q	7,652,831 株	25年3月期	7,650,551 株
26年3月期3Q	41,142,168 株	25年3月期3Q	41,144,092 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円高是正・株高が進み、企業業績の改善、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善によって個人消費が底堅く推移するなど回復基調で推移しました。一方、新興国の経済減速、米国の金融緩和縮小による影響といった海外経済の下振れリスクがあり、先行きは不透明感が残る状況となっております。

当社グループの関連する情報サービス業界では、ITを活用したマーケティングの最適化、コスト競争力強化、業務改革など企業経営の改善に繋がる業務アウトソーシングビジネスの需要が拡大しております。また、EC（電子商取引）を活用した商品・サービスの売上拡大を模索する動きも活発化してきており、これらのニーズに伴うアウトソーシング需要も拡大しております。

このような状況の下、当社グループは、お客様企業の売上拡大とコスト削減を支援するアウトソーシングサービスの提供に注力し、既存業務の拡大や新規業務の獲得など受注の増加に繋げることができました。また、引き続き生産性向上・品質向上に努め利益率の改善に取り組んだ結果、収益面についても好調に推移しました。

一方で、お客様企業のECビジネスをグローバルで支援するアウトソーシングサービス体制の強化、推進に努めました。具体的には、アメリカのECアウトソーシング業界大手のPFSweb, Inc.との資本・業務提携、中国の大手ECフルフィルメント・物流企業の上海合驛物流有限公司（FineEX）と資本・業務提携を行いました。さらにアメリカ、中国に加えてインドネシアなど東南アジア地域での体制強化を積極的に図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高135,050百万円となり前年同期比9.7%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および売上総利益率の改善などにより、営業利益は6,279百万円となり前年同期比31.1%の増益、経常利益は7,215百万円となり前年同期比37.4%の増益、四半期純利益は5,898百万円となり前年同期比86.9%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は107,237百万円と前年同期比7.3%の増収となり、セグメント利益は5,068百万円と前年同期比48.1%の増益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、第1四半期連結会計期間において、一部子会社を連結の範囲から除外した影響や受注が減少したことなどにより、売上高は15,269百万円と前年同期比4.1%の減収となりましたが、一部ビジネスプロセスアウトソーシング子会社の利益改善などにより、セグメント利益は688百万円と前年同期比35.0%の増益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、中国におけるオフショア開発の受注の増加などにより、売上高は13,811百万円と前年同期比6.7%の増収となりました。また、急激な円安進行によるオフショア事業の採算性の悪化などにより、セグメント利益は248百万円と前年同期比17.7%の減益となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、前第4四半期連結会計期間から一部子会社を連結の範囲に含めた影響などにより、売上高は6,503百万円と前年同期比163.6%の増収となりました。また、国内コンシューマ向け製品のリリース時期の影響などにより、セグメント利益は217百万円と前年同期比55.9%の減益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,129百万円減少し、85,291百万円となりました。このうち流動資産につきましては、3,166百万円減少し、60,228百万円となりました。これは主に、借入金の返済などによる現金及び預金の減少であります。固定資産につきましては、36百万円増加し、25,062百万円となりました。この主な増減の内訳は、関係会社株式の新規取得による増加や、投資その他の資産のその他に含めていた訴訟仮払金の減少などであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて9,080百万円減少し、26,038百万円となりました。これは借入金の返済による減少や訴訟損失引当金の減少などであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて5,950百万円増加し、59,252百万円となり、自己資本比率は、65.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期については、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指しております。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成26年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,025	30,598
受取手形及び売掛金	25,760	25,464
有価証券	41	—
商品及び製品	8	65
仕掛品	463	806
貯蔵品	24	29
繰延税金資産	1,505	855
その他	1,856	2,679
貸倒引当金	△291	△271
流動資産合計	63,394	60,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,283	3,296
工具、器具及び備品(純額)	2,273	2,242
土地	1,157	1,169
その他(純額)	347	548
有形固定資産合計	7,061	7,256
無形固定資産		
のれん	178	163
ソフトウェア	1,050	1,063
その他	418	482
無形固定資産合計	1,647	1,709
投資その他の資産		
投資有価証券	3,581	3,843
関係会社株式	2,801	4,086
その他の関係会社有価証券	88	72
関係会社出資金	1,349	2,341
繰延税金資産	708	80
差入保証金	4,769	5,176
その他	3,239	611
貸倒引当金	△221	△116
投資その他の資産合計	16,317	16,096
固定資産合計	25,026	25,062
資産合計	88,420	85,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,177	5,350
短期借入金	575	450
1年内償還予定の社債	570	20
1年内返済予定の長期借入金	5,879	2,449
未払金	3,135	3,558
未払費用	7,179	7,567
未払法人税等	1,245	250
未払消費税等	1,829	1,867
賞与引当金	3,082	1,716
その他	1,312	1,972
流動負債合計	29,986	25,202
固定負債		
社債	20	10
長期借入金	2,000	346
退職給付引当金	158	165
訴訟損失引当金	2,555	—
その他	397	313
固定負債合計	5,132	836
負債合計	35,118	26,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	17,297	21,714
自己株式	△15,924	△15,927
株主資本合計	50,949	55,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	851
為替換算調整勘定	△1,314	△101
その他の包括利益累計額合計	△1,065	749
少数株主持分	3,417	3,139
純資産合計	53,301	59,252
負債純資産合計	88,420	85,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	123,129	135,050
売上原価	102,327	109,936
売上総利益	20,802	25,114
販売費及び一般管理費	16,011	18,834
営業利益	4,790	6,279
営業外収益		
受取利息	56	41
受取配当金	26	30
持分法による投資利益	150	247
為替差益	105	469
デリバティブ評価益	139	—
その他	245	315
営業外収益合計	723	1,104
営業外費用		
支払利息	185	73
その他	74	95
営業外費用合計	260	168
経常利益	5,252	7,215
特別利益		
関係会社株式売却益	1,078	33
訴訟損失引当金戻入額	—	1,064
その他	59	304
特別利益合計	1,138	1,402
特別損失		
減損損失	49	114
訴訟関連損失	—	406
その他	251	130
特別損失合計	300	651
税金等調整前四半期純利益	6,090	7,966
法人税、住民税及び事業税	798	596
法人税等調整額	1,846	1,200
法人税等合計	2,644	1,797
少数株主損益調整前四半期純利益	3,446	6,168
少数株主利益	290	270
四半期純利益	3,155	5,898

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,446	6,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△623	631
為替換算調整勘定	118	1,050
持分法適用会社に対する持分相当額	152	226
その他の包括利益合計	△352	1,909
四半期包括利益	3,093	8,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,797	7,713
少数株主に係る四半期包括利益	295	364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	99,693	8,512	12,458	2,465	123,129	—	123,129
セグメント間の内部 売上高または振替高	289	7,404	481	1	8,177	△8,177	—
計	99,983	15,917	12,939	2,466	131,307	△8,177	123,129
セグメント利益	3,423	510	302	492	4,728	61	4,790

(注) 1 セグメント利益の調整額61百万円は、セグメント間取引消去26百万円、のれんの償却額35百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	107,057	8,246	13,243	6,502	135,050	—	135,050
セグメント間の内部 売上高または振替高	180	7,022	567	0	7,771	△7,771	—
計	107,237	15,269	13,811	6,503	142,822	△7,771	135,050
セグメント利益	5,068	688	248	217	6,223	56	6,279

(注) 1 セグメント利益の調整額56百万円は、セグメント間取引消去27百万円、のれんの償却額28百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。